

CI-NET導入事例紹介



株式会社 **浅沼組**

建築事業本部 建築企画部 今福 健司

1. 会社概要

商号（英文社名）	株式会社 浅沼組（ASANUMA CORPORATION）
本社所在地	大阪市浪速区湊町一丁目2番3号 マルイト難波ビル
代表者名	代表取締役社長 浅沼 誠
創業	1892年（明治25年）1月20日
売上高	1,324億円（単体）（2022年3月期）
従業員数	1,273名（単体）（2022年3月末時点）

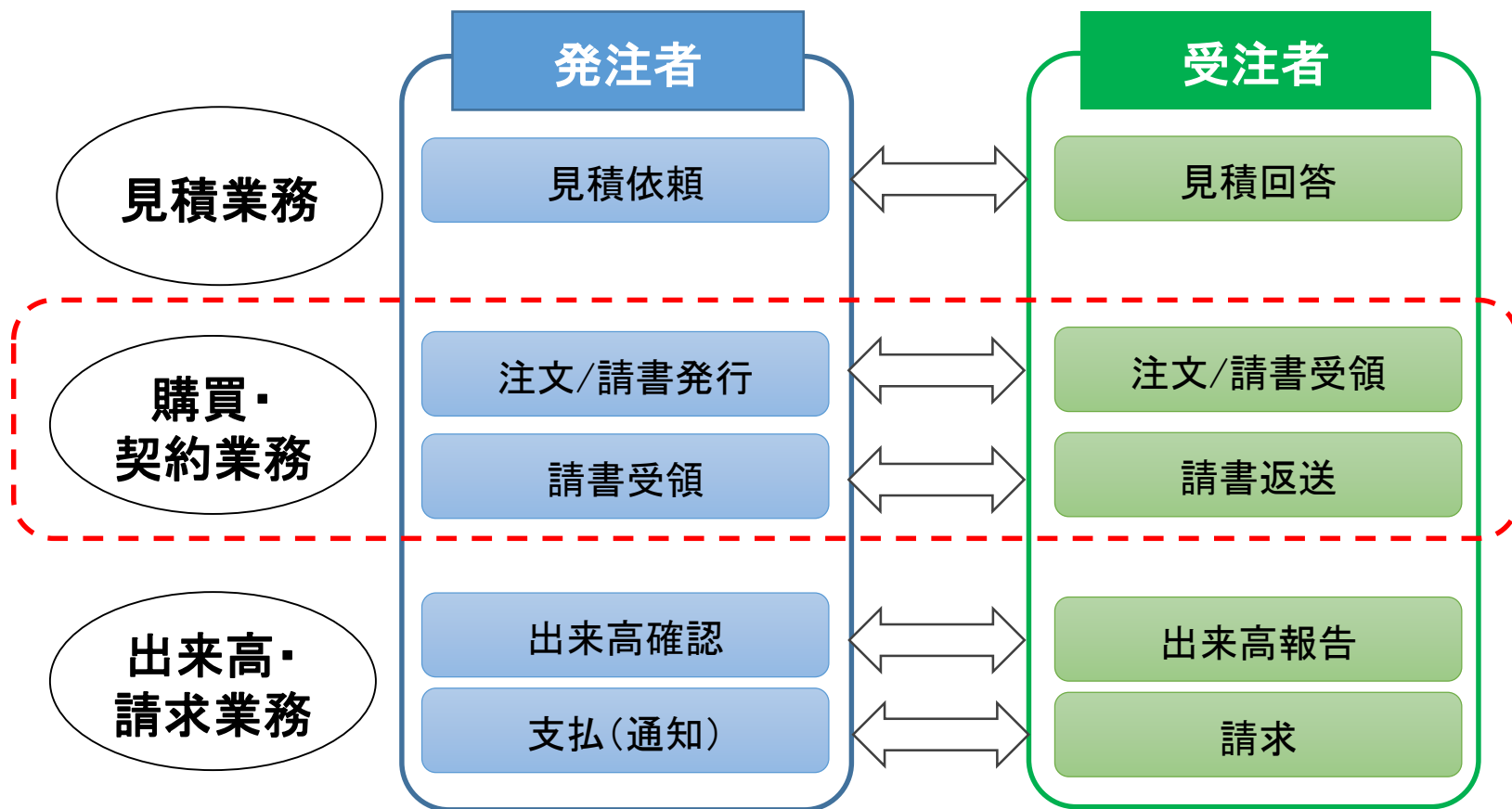
2. 導入決定までの経緯

- 2018年4月 中期3ヵ年計画(2018-2020)発表
 - 課題として「**建設事業における生産性向上、業務の効率化**」を掲げ、取り組みの一つとして「**電子商取引における購買システムの見直し検討**」
 - 初年度である2018年度に、導入について検討したが **一旦保留**
(理由) 導入による効果 (特に費用対効果が.....)
協力会社からの要望があまり無い
- 2019年度下期に再度検討開始
 - 2022年4月からの導入決定
(理由) 同業他社の導入状況 (危機感)
協力会社からの要望が徐々に増えた

発行 件数	既加入	37%
	上位(300社)全て加入	56%
発行 金額	既加入	38%
	上位(300社)全て加入	73%

3. 導入範囲

— CI-NET業務範囲 —



スモールスタート

多岐に亘る業務への同時導入は様々な負荷かかる
→対象業務を絞り導入

4. 導入効果

◆業務エリア（注文/請書）

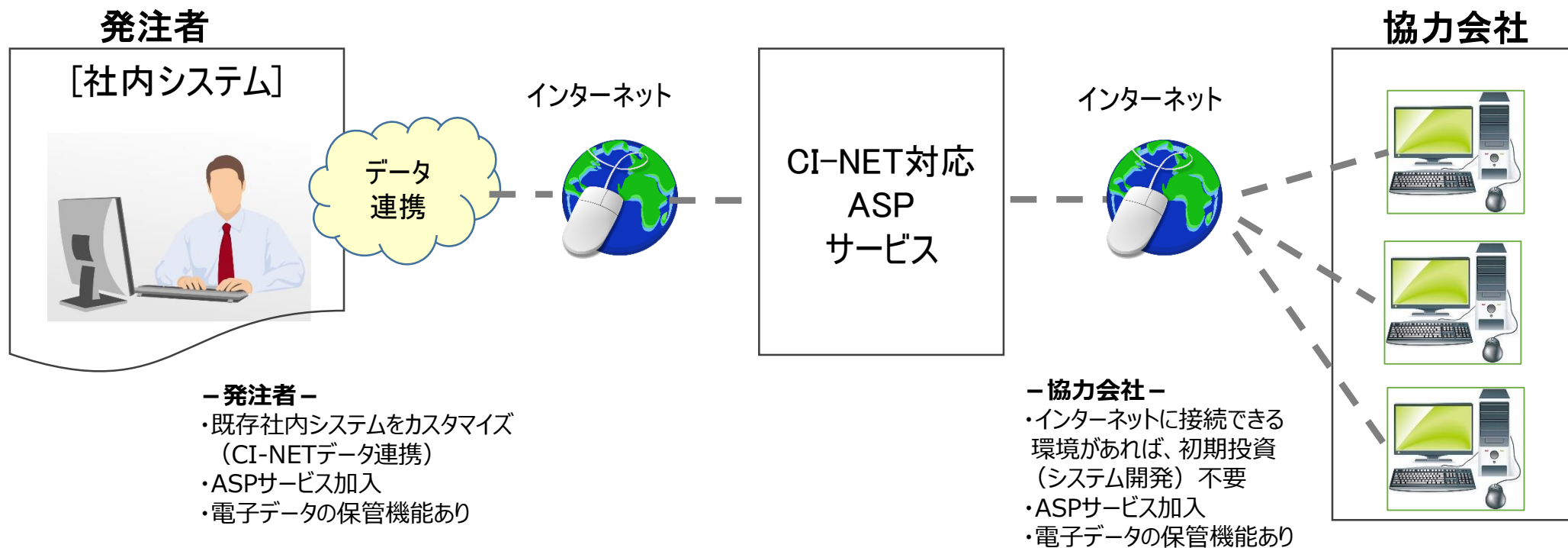
発注者	受注者
<ul style="list-style-type: none">➤ 注文/請書印刷業務削減➤ 注文書への捺印業務削減➤ 注文/請書の発送業務削減	<ul style="list-style-type: none">➤ 注文/請書受領業務の削減➤ 請書への捺印不要➤ 請書の発送、提出業務削減
<ul style="list-style-type: none">➤ 注文/請書発行から請書受領までのリードタイムの短縮➤ 注文/請書の郵送費 および 受領・提出のための交通費削減➤ 印紙代の削減	

※全ての協力会社がCI-NET対応とはならないので、従来の紙での運用と併用となる

5. 導入方法

ASP活用タイプ

ASPに加入し、ASPサービスのEDI機能を利用
自社の業務システムはそのまま活用



6. 導入スケジュール

	2020年					2021年					備考
	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	
システム開発	要件確認			システム設計・開発			検証	テスト運用			2021年6月 運用開始 ※全店同時
社内 検討・教育	説明会およびヒアリング			操作マニュアル作成		操作説明会					
協力会社 周知・教育			実態調査				※全国7本支店 (TV会議システム) ※WEB活用	導入説明会		テスト運用	
			※直近3ヵ年取引協力会社 ※導入状況、導入システム (ASP)				※既導入協力会社数社の 協力のもと実施				

7. 運用状況

■ 導入時(2021年6月)

CI-NET対応業者 約600社

■ 運用実績

CI-NET対応業者(2022年6月末時点) 約1,200社

CI-NET活用率(2021年6月～2022年6月 12カ月間)

注文/請書発行 件数ベース 38%

注文/請書発行 金額ベース 46%

8. 今後の課題

- CI-NET対応協力会社の拡充
- 次ステップ（見積業務 or 出来高/請求業務）の検討

ご清聴 ありがとうございます



株式会社 浅沼組